



座発第 1001 号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

座間味村長 仲村三雄



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け、国道企第114号にて提出依頼のありました標記の件につきまして別紙のとおり回答致します。

中期的な計画の作成にあたっての意見【座間味村】

(今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見)

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1) 観光に資する道路整備

- ・ 体験滞在型交流施設が有り、また将来的に長期滞在型観光施設の計画が有るので、そこへのアクセス道路の整備が必要である。

2) 災害に強い道路整備

- ・ 台風対策として、電線類の地中化をしてもらいたい。

3) 景観に配慮した道路整備

- ・ 景観の改善に繋がるコミュニティ道路整備をしてもらいたい。

4) 離島苦の解消

- ・ 座間味島と阿嘉島が道路・橋梁で繋がると、村全体の一体感ができ、島民の生活不安解消に繋がるとともに、水事情の改善が期待される。
- ・ 橋梁の建設に当たっては、ラムサール条約の指定地域を含むことから、環境への配慮が必要である。

5) バリアフリー対策

- ・ 集落全体をホテルと考え集落内道路を廊下、家屋を部屋と考えている。阿嘉島でバリアフリー化を実現させているので座間味島においてもバリアフリー整備を進めてもらいたい。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

1) 村事業のスピードアップ

- ・ 村事業の座間味阿佐線（H12～H21）について、県代行で継続して整備してもらいたい。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

1) 関連事業との連携

- ・ 村内には幾つかの島があり、それが道路・橋梁で繋がれば島や地域が一つになり、村として強くなる。
- ・ 既に整備されている空港へのアクセス道路を県道へ昇格させて、橋梁との一体的な整備を進めてもらいたい。
- ・ 地域再生計画があり、それには実施予定地へのアクセス道路の整備が不可欠である。
- ・ 離島では船舶が沖縄本島などの地域間を繋げる幹線道路の役目をしている。現在 500t 未満の船舶用港湾を整備しているが、湾内に 2,000t 級船舶が入港可能な港湾の整備が可能であり、そうなれば欠航も少なくなる。それに伴い港周辺道路と集落を結ぶ道路の整備をする必要がある。